

支援対象企業

支援対象企業のプロフィール

- 企業名 : タカノ株式会社
 所在地 : 長野県上伊那郡宮田村137
 代表者 : 鷹野 準
 業種 : 製造業
 事業内容 : ばね、エクステリア、エレクトロニクス関連製品、ヘルスケア製品製造・販売
 URL : <https://www.takano-net.co.jp>
- 圧力分布センサー活用機器には多数の製品化実績あり！
 - 高齢化の進展に伴い、非侵襲/無拘束の生体計測技術革新と機器開発は必須！
 - 予防、見守り機器開発検討中！



取組の背景

- ヘルスケア分野に於いて圧力分布センサーの商品化実績は12年あるが、新たなに市場ニーズを受け入れる機器やセンサー技術の開発は実現できていなかった。
- 技術開発本部では、ヒトとモノとの接触圧を測定する圧力分布センサーをコア技術に、非侵襲/無拘束で生体情報を検出する技術を開発して、ユーザに価値を提供するアプリケーションの開発を行いたいと考えていた。
- 今回の経産省補助事業を活用して、ユーザーニーズの把握から開発テーマの探索方法を学ぶ。そして、医療現場の効率化や患者様の負担軽減から真に喜んで戴ける医療用品の開発/販売に繋げて行きたい。

支援内容

- 【今年度の支援方針】
 今年度に於いては、技術開発テーマの探索まで行い、新規商品事業化計画策定については来年度とした。
- 【今年度の支援内容】
- 医療関係者・機関などから市場ニーズ把握、東京都医工連携HUB等の調査
 - シーズ掘起し：経営支援NPOクラブから情報提供
 - 最近のバイタルセンシング技術の調査、大学・研究機関や連携支援団体とのマッチング先選定
 - 次年度技術開発テーマ絞り込み（4～5項目）

取組の成果・今後の展開

- 次年度技術開発テーマ（3～5項目）設定
→ 疾患テーマ：例)褥瘡
- センサー技術（光、超音波）等の調査テーマ登録
→ 開発するセンシング技術の深耕
- 連携支援団体（大学・研究機関）等とのヒアリング
→ 全般：テクノエイド協会
→ 光センサー技術：徳島大学等

＜支援を受けた企業の声＞

生体計測分野のマーケティング指導は非常に有意義でした。当社の商品力や市場性、強み弱みの分析を通じ、現状を客観的に理解できました。さらに、医療分野のセンサー応用事例や探索情報をいただき、新たな市場の可能性を見出す助けとなりました。リーカンバスの使い方に関するセミナーや具体的な記入例も提供され、実務に即した学びが得られ、大変感謝しております。



タカノ株式会社
中原様

支援対象企業

支援対象企業のプロフィール

企業名 : 株式会社デンケン
所在地 : 大分県由布市挾間町鬼崎688-2
代表者 : 石井 源太
事業内容 : FA装置関連事業、半導体関連事業、エネルギー関連事業、駐輪事業、健康・医療機器関連事業、精密板金機械加工事業の6事業ヘルスケア事業
会社URL : <https://www.dkn.co.jp/health-care/>



取組の背景

- 自治体主体の展示会にてメーカーより株式会社デンケンを紹介頂く。
- 経営支援NPOクラブが、経済産業省の中堅・中核企業の経営力強化支援事業補助金（プラットフォーム構築による新事業展開等支援事業）を受託し企業誘致開始
- 地域経済を牽引する中堅・中核企業の新事業展開（新分野への進出、新たなビジネスモデルの導入等を含む）を支援し、地域経済の持続的な成長を実現することが目的。
- 経営支援NPOクラブ内にて検討し、株式会社デンケンを候補先として打ち合わせを開始した。

支援内容

- ヘルスケア事業の売上拡大が急務
- 電位・温熱組合せ家庭用医療機器の売上拡大を図るべく事業計画案を策定
- 医療機関等との連携による効能効果の実証、データ作りの提案
- 国内ルートの開拓提案
- 海外比率も高いため、海外ルート開拓の提案
- 収益性向上に関する提案
- 国内・海外市場分析、SWOT分析等の実施
- 新事業戦略の提案 等の実施
- 継続した事業展開のための推進者の設定

取組の成果・今後の展開

- 技術系人材の補填や育成が必要なため、技術や照会を実施 現在検討中
- コスト削減のための設備投資提案を行い、競争力を高め将来に備える。
- 3年後に売上倍増目指し、さらに拡大すべく事業計画書を策定した。

＜支援を受けた企業の声＞

弊社では、電位・温熱組合せ家庭用医療機器の売上を10億/年として目標設定を行いました。この度、経営支援NPOクラブ様のご支援により、どのような形で取り組みればよいか明確になりました。事業計画を作成することで目標に届く姿が見えてきました。課題整理が出来ましたので、今後どのように展開するか社内検討を進め展開していきたいと思っております。ご支援頂きありがとうございました。



株式会社デンケン
河野様

支援対象企業

支援対象企業のプロフィール

企業名 : 株式会社ツガワ
 所在地 : 神奈川県横浜市港北区新羽町1181
 代表者 : 駒田義和
 業種 : 金属加工業を祖業とする「モノ・コトづくりトータルソリューション・カンパニー」
 事業内容 : 各種筐体類開発製造販売
 会社URL : <https://www.tsugawa.com>



取組の背景

PFでの支援のきっかけ

- ① NPO特定支援会員としてビジネス基盤強化に協働中。
- ② 顧客開発製品の受託製造を中心に業容拡大してきたが、今後の更なる発展のために、自社開発2製品（非接触型空中ディスプレイ、除菌消臭ロッカー）を開発し市場開拓を模索中。
- ③ 当該2製品は医療分野を中心とした市場開拓が期待される事から当該PFで支援する事で合意した。

相談内容・当初の問題意識

- ・両製品とも市場評価が不十分であり、利用者の声を把握しきれていないため、各界各分野の専門家の意見を聴取し、効果的な販路開拓に結び付けたい。

支援内容

- ・経営課題の特定・支援内容の設定
 経営課題：市場動向の把握、競争優位性の明確化（マーケティング力脆弱）
 支援内容設定：上記のための専門家・有識者の知見聴取支援の内容詳細 等
- ① 知見聴取者の選定、依頼、面談設定
 - ・大手介護施設 (株)マザアス 吉田社長
 - ・臨床工学技士 加藤先生、井桁先生
 - ・杏林大 中島教授
- ② 知見聴取および販路開拓支援者面談
 - ・加賀EFI (株)、(株)セントラルユニ
- ③ 今後の取り組み課題の協議と方向性整理

取組の成果・今後の展開

支援の結果、どのように課題が解決したか

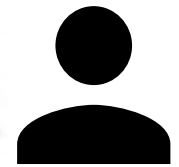
- ・解決に向けて動いているか、対象製品の多面的市場把握と自社製品の競争優位性の有無、要強化点の明確化ができ、販路開拓分野の順位付けと改善課題も整理できた。

支援を受けて今後どのような方針で取組展開していくのか

- ・上記改善課題を整理しつつ、優先的販路開拓計画を策定するとともに、上記支援者とも継続コンタクトしつつ計画具体化を図る。

＜支援を受けた企業の声＞

自社内の関係者中心に、商品開発を行って来たことは相応に有意義ではあったが、今回、各分野の専門家・有識者の方々から市場の状況を教わり、多面的な課題提起と商品化のため知見・アイデアを幅広く聞かせていただいた事はまたとない恰好の機会であり深く感謝している。自社の対応力には限界があるが、いただいたご意見・課題を再整理し今後の取組の具体策を設定し直していきたい。



株式会社ツガワ
 伊藤様
 山口様

支援対象企業

支援対象企業のプロフィール

企業名 : 三重金属工業株式会社
 所在地 : 三重県津市半田564-1
 代表者 : 代表取締役社長 西村圭司
 業種 : 製造業
 事業内容 : 自動車部品製造、医療機器製造業
 会社URL : <https://www.miekin.co.jp>
 ・医療機器製造業
 ・ISO13485
 ・クリーンルーム（クラス1000）で組立作業



取組の背景

PFでの支援のきっかけ

経営支援NPOクラブと三重金属工業（株）は、三重県の案件などを通して数年前から交流があった。

相談内容・当初の問題意識

脱炭素社会への実現に向けて自動車業界の電動化が進み、事業環境の変化が大きい中で、自動車部品に次ぐ医療関連事業の拡大を図っているが、売上・販路拡大が伸び悩んでおり、NPOクラブへの支援をお願いし、事業の拡大を行いたい。

支援内容

1. 経営課題の特定、支援内容の設定
 - ①医療関連部品事業のバルーンカテーテル部品の売上拡大
 - ②カチャッと君、アンギオ検査台用心臓マッサージ棒の販売拡大
2. 支援の内容詳細
 - ①既存取引顧客が取り組む事業へ積極的に技術提案し新規事業・部品の受注
 - ・ホームページ、PRシート等を活用してバルーンカテーテル分野周辺の顧客開拓。
 - ②カチャッと君：廉価版の開発、用途の拡大及びDM等によるPR強化
 - ③アンギオ検査台用心臓マッサージ棒：X線装置メーカー、病院、地場商社へのPR

取組の成果・今後の展開

支援の結果、どのように課題が解決したか、解決に向けて動いているか：

- ①既存顧客へ技術PRし、バルーンカテーテル部品の販路拡大に向かっている。
- ②カチャッと君、アンギオ検査台用心臓マッサージ棒とも販路拡大に向けて動き出している。

<支援を受けた企業の声>

- ・SWOT分析等を用いて、事業環境、自社の強み弱みが分析でき、課題の見える化ができた。
- ・経営支援NPOの方々からアドバイスをいただき、販路拡大につながる業界の知識が高まり、ターゲット顧客が明確になった。



三重金属工業株式会社
西田 ひとみ様

支援対象企業

支援対象企業のプロフィール

企業名：株式会社朝日ラバー

所在地：埼玉県さいたま市大宮区土手町2-7-2

代表者：渡邊陽一郎

業種：工業用ゴム及び医療用等のゴム製品の製造・販売（医療機器製造業 ISO13485認証取得）

事業内容：

- ①自動車・照明～車載内装向けLED照明など
- ②医療・ライフサイエンス～プレフィルドシリンジ用や医療回路製品用などゴム製品、複合製品
- ③機能・通信～車載向けスイッチラバー、やわらか保護カバー(RFID-TAG)など

会社URL：<https://www.asahi-rubber.co.jp/>



取組の背景

PFでの支援のきっかけ

経営支援NPOクラブから支援推薦

相談内容

- ① 医療・ライフサイエンス事業の海外展開と売上拡大
- ② 主要製品の海外市場参入、拡販に向けISO15378認証の取得支援
- ③ 工場拡充と環境整備（対象となる補助金の調査と申請）
- ④ 新会社 朝日フロントメディックの取扱製品の拡充

支援内容

経営課題の特定・支援内容の設定

- ① 海外展開対応の情報収集
- ② ISO15378の認証取得準備（第二福島工場）
- ③ 経済産業省の補助金活用による工場拡充の検討
- ④ 朝日フロントメディックの商材検討

支援の内容詳細等

- ① 海外医療技術協力会(OMETA) 及びインド進出企業、インドネシアコンサルタントの面談、OMETAビジネスセミナー参加
- ② ISO認証専門家との面談（第二福島工場見学）
- ③ 令和6年度補正予算の補助金確認及びその申請準備
- ④ NPOクラブヘルスケアグループ（G）支援企業とのマッチング

取組の成果・今後の展開

支援の結果、どのように課題が解決したか、解決に向けて動いているか

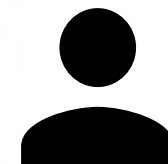
・販売戦略製品の海外市場の展開に要求されるISO15378認証の要求事項への課題抽出が図れ、工場拡充計画と環境整備の構想設計が可能になった。

支援を受けて今後どのような方針で取組展開していくのか。

・ヘルスケアGとの連携と最新の海外情報先の紹介などをもとに朝日フロントメディックによる海外展開の強化を支援していく。

＜支援を受けた企業の声＞

・海外医療市場へ拡販するには「ISO15378認証取得」の大きな課題があり、進め方に悩んでいる状況でした。課題解決へISO認証専門家の紹介と工場見学を経て打合せやコンサルタント企業の情報提供などの支援を受け、将来の目的・ゴールから逆算し準備するタスクや時間軸を構想することができました。
・海外販路や取扱う製品（商材）の拡充支援とあわせ、経営支援NPOクラブのチームメンバーのご経験、人脈、情報から支援を頂きましたことに深く感謝を申し上げます。今後も引き続き、ご支援の程よろしくお願ひ致します。



株式会社
朝日ラバー
営業本部長
的場敬司 様

支援対象企業

支援対象企業のプロフィール

企業名:野村ユニソン株式会社

所在地:長野県茅野市ちの650

代表者:野村稔,野村高城

業種:製造業

事業内容:医療機器製造販売、FA関連装置、ロボット
入洋酒販売

会社URL: <http://www.nomura-g.co.jp>

- ・大学病院等との共同開発で自主開発品多数!
- ・術具(持針器等)、ME機器など特徴ある開発品!
- ・ベンチャー企業の医療機器開発受託・製造も対応!



取組の背景

- ・産業集積が進む長野県茅野市でFA関連機器、ロボティクス、金型、ダイカスト品などものづくりで1954年以来事業展開。2017年に新規事業としてメディカルデバイス部門で医療機器の開発・製造・販売を開始。
- ・大学の医師、医療機関等との現場ニーズに立脚した各種医療機器を多数開発。この実績でベンチャー企業などから開発・製造委託も展開。
- ・メディカルデバイス部門を会社の柱の一つにすべく、国内外にて積極展開中。
- ・脳外科等医療現場への手術サポート、効率化、負担軽減など喜んで戴ける医療機器開発を目指す!

支援内容

【今年度の支援方針】

今年度は、自主開発品の拡販と受託開発事業の拡大をテーマに同社の高い技術力を背景に積極支援する。

【今年度の支援内容】

経営支援NPOクラブのネットワークをフル活用し;

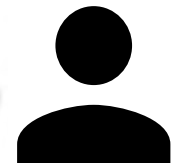
- ① 自主開発品 術具(持針器、鉗子、剪刀、止血クリップ等)の拡販支援、マッチング。
- ② 受託開発事業(細胞培養装置、PCR等の開発実績を元にした)ME機器開発受託、製造受託のベンチャー企業、各種支援機関等への同社紹介。

取組の成果・今後の展開

- ・技術力・差別性高い、持針器・鉗子・剪刀のセットを大手医療企業に紹介、マーケティング開始。
- ・支援機関とのコラボにより、医療系ベンチャー企業へ受託開発の拡販を推進。

<支援を受けた企業の声>

- ・持針器・鉗子・剪刀の自主開発品についてのマッチング支援、大学への自主開発品紹介・コラボは非常に有意義でした。
- ・当社の商品開発力や市場位相に関するリーンキャンパス分析、強み弱み市場分析(SWOT)を通じ、現状を客観的に理解できました。
- ・医療分野の各種事例や探索情報、NPOクラブ殿のネットワークは新たな市場開拓の助けとなります。



野村ユニソン株式会社
和田様
神澤様

支援対象企業

支援対象企業のプロフィール

企業名:岩瀧薬品株式会社
 所在地:千葉県四街道市鷹の台1-5
 代表者:代表取締役社長 岩瀧 琢磨
 代表取締役専務 岩瀧 裕樹
 業種:医薬品総合商社
 事業内容:医薬品、医療機器等の医療機関への販売
 会社URL: <http://www.iwabuchi-net.co.jp/>



取組の背景

- 岩瀧薬品は医薬品卸業として医薬品、医療用品を供給する千葉県のリーダカンパニーであり、地域経済を牽引する中堅・中核企業である。
- 創業100年を超える堅実な医療事業の一方、「病気にかからない健康であることへの貢献」を目的に、新事業として健康経営支援事業に着手し、併せて健康延伸と関連する地域まちづくりの活動も始めている。
- 自社開発のwith LEAFは個々人の健康と企業経営に寄与する健康アプリである。
- 岩瀧薬品は健康経営支援を通して、Well-being社会の広がりを希求し、医療と健康による地域貢献を目指す。

支援内容

- **新事業計画の可視化**
新事業の目的/目標、開発経緯、市場/顧客
- **新事業計画実現性検討**
市場調査・競合分析、優位性検証、課題の抽出
- **課題解決方向性検討**
SWOT分析、リーンキャンパス、顧客価値、ソリューション
- **重点課題の抽出**
- **課題解決に向けた支援**
連携支援機関、専門家意見聴取、連携企業創出
- **新事業計画の策定支援**

取組の成果・今後の展開

- 新事業計画の主軸は顧客価値の創出、健康支援事業の遂行シナリオを再構築する
- 課題解決行動による事業モデル伸長の市場活動
- 中小企業向け健康経営支援“岩瀧モデル”発信策
- 地域連携の健康づくりと街づくりへの貢献

<支援を受けた企業の声>

- これまで自社内で試行錯誤を重ねてきましたが、視野が狭くなりがちでした。
- 外部からの客観的なアドバイスをいただいた結果、自社の強みと考えていた点が本当に強みなのか、逆に見落としていた強みがあるのではないかなど、多くの気づきを得ることができました。
- この過程を通じて、自社の強みと弱みを再整理し、より明確な方向性を見出すことができました。



岩瀧薬品
 株式会社
 岩瀧裕樹 様